



環境報告書
Environmental Report
2020

目次

ごあいさつ P.1

会社概要 P.2

環境基本方針 P.3

環境目標・実績 P.4

環境負荷低減の取り組みと実績 P.5~P.8

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

●水資源の有効活用

●廃棄物削減の取り組み

化学物質排出削減の取り組み

マテリアルフロー P.9

環境関連商品 P.10

2019年度環境活動 P.11~P.16

環境負荷低減のために

地域とともに

ごあいさつ

ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックの全従業員は、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

私たちダイニックでは設備冷却水を生成するチラーや変圧器の更新、照明のLED化、工場屋根の遮熱塗装による温度上昇抑制など省エネルギー活動を行っています。また資源の有効活用をすすめる活動として、工業用水受水設備のIoT化や消火栓配管の架空化などを推進しています。これら生産段階における活動の他、滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では多賀町と協力し、地域の方々との「星空☆自然かんさつ会」などを開催し、天体観望会や新たに導入したプラネタリウムを活用して環境啓発活動も行っています。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取り組みを強化し、地球環境と生活環境に配慮した環境関連商品の開発に取り組み、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。



令和2年8月

ダイニック株式会社
代表取締役社長

大石義夫

会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所一部上場
売上高	283億円(グループ含み408億円) (2020年6月26日現在)
従業員	608名(グループ含み1,386名) (2020年6月26日現在)
本社	京都本社:〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111(代) FAX 075-313-2116
	東京本社:〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811(代) FAX 03-5402-3146
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ(グループ含む)
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ(グループ含む)
関連会社	国内7社、海外11社
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他(グループ含む)



環境基本方針

【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことが製造メーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷を低減する。
- (2) 省エネ、廃棄物の減少に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質による環境を損なうリスクを予防する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社
代表取締役社長 大石 義夫

■環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー・廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境関連製品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

■地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、持続可能な社会構築に貢献し、地球環境と共生できる企業を目指して取り組んでいます。



● 環境目標・実績 ●

ダイニックでは環境中期目標（2018年度～2020年度）を設定し、推進しています。
この設定目標に対する2019年度の取り組み実績は、以下の通りです。

● 2019年度の環境目標・実績一覧

取組項目	管理項目	2019年度				2020年度 最終年目標	
		目標	実績	自己 評価	関連 ページ		
温暖化対策 省エネルギー	CO2 排出量削減	t-CO2	2013年度比 6%削減	-16.9%	◎	P5	2013年度比 7%削減
	エネルギー 原単位の改善	原油換算 ℓ/km	2017年度比 2%改善	-3.7%	○	P5	2017年度比 3%改善
省資源	水の使用量 削減	千t	2017年度比 2%削減	+1.7%	×	P6	2017年度比 3%削減
廃棄物の3R	廃棄物量 の削減	t	2017年度比 2%削減	-2.1%	○	P7	2017年度比 3%削減
	産業廃棄物 最終処分量 の削減	t	2017年度比 2%削減	+73%	×	P7	2017年度比 3%削減
環境汚染防止	PRTR対象 化学物質 排出量削減	t	2016年度比 15%削減	-15.2%	○	P8	2016年度比 20%削減
環境関連商品	対売上比率 の向上	%	2017年度比 1%向上	+2.7%	◎	P10	2017年度比 1.5%向上

<自己評価凡例>

- ◎：目標の2倍以上達成
- ：目標を達成
- △：目標は達成できなかったが目標に近づいた
- ×：目標に向けた改善ができなかった

● 環境負荷低減の取り組みと実績 ●

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、温室効果ガスであるCO₂を排出します。CO₂の排出削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明のLED化、変圧器・空調機やチラーの高効率型への変更、コンプレッサーの集約による効率改善やインバータ化、蒸気配管改修等を計画的に実施しており、また設備の新設や改善などのエネルギー効率を良くする生産性改善も実施してきました。

2019年度は生産数量の2.0%増加に対し、エネルギー使用量は前年度比0.7%増加、CO₂排出量は前年度比3.9%減少、エネルギー原単位につきましては前年度比1.3%の改善となり、エネルギー効率の改善が進んでいます。

2020年度も、生産性改善や省エネ設備投資をさらに進め、さらなる改善に取り組んでゆきます。



省資源・廃棄物削減の取り組み

●水資源の有効活用

生産工程で使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進し、水資源の有効活用に取り組んできました。

2019年度は滋賀工場の生産活動の増加に伴い、総水資源投入量は前年度比101.7%と、3年連続して増加となりました。一方、総排水量は前年度比2.4%減少となりました。

2020年度は、無駄な水資源の利用を見直し、この総水資源投入量増加傾向に歯止めをかけるべく活動します。

総水資源投入量 (千トン)



総排水量 (千トン)



● 廃棄物削減の取り組み

地球環境保全のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。廃棄物の発生を抑えるだけでなく、資源の有効利用の観点から、リユース・リサイクルを進めてきました。

2019年度の総物質投入量は生産量増加に伴い、2.8%増の34,460トンとなりましたが、総廃棄物量は前年度比3.3%減の4,956トンとなり、効率的な生産が出来ました。

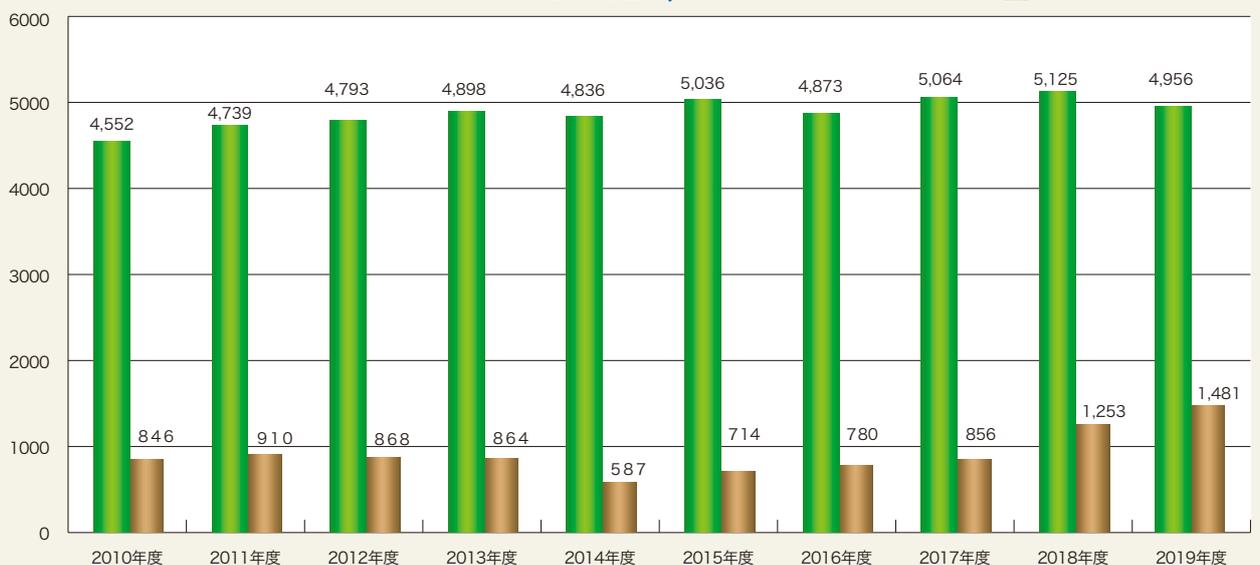
廃棄物最終処分量は前年度比18.1%増となり、5年連続で増加傾向が続いています。

2020年度は、廃棄物最終処分量増加傾向の歯止めをかけるとともに、効率的な生産を続けます。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



化学物質排出削減の取り組み

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に従い、製造工程で使用している化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めています。

2019年度の排出量は投入品種の変動などの影響を受け、前年度比15.4%増加しましたが、移動量は5.9%減少となりました。

2020年度は中長期計画目標である2016年度比20%削減を目指し取り組んでいきます。

PRTR対象物質総排出量（トン）



PRTR対象物質総移動量（トン）



2019年度の事業活動における 環境負荷の全体像（マテリアルフロー）

ダイニクの企業活動・生産活動のために投入した原材料、エネルギー、水資源（INPUT）に対して、各種排出物（OUTPUT）から環境負荷を把握し、効率的な事業活動による資源の有効活用に取り組んでいます。エネルギーを得るための燃料種の変更を行った結果、SOxの排出量を大幅に減らすことが出来ました。一方、生産品種の関係で、PRTR対象物質の排出量が増加してしまいました。2020年度は、資源の有効活用にさらに取り組んでまいります。



環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。当社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

【地球環境に配慮した商品】

■ 環境への負荷を低減した商品

▶ 脱塩ビ・脱プラスチック・脱溶剤各種商品

非塩ビファイル（エコファイル）、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVA コンテナ、ファイル・バインダー・手帳用表紙クロス水性化等

▶ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

再生紙使用紙クロス、教科書用紙クロス、背貼り用紙クロス、※再生ポリエステル使用カーペット等

▶ 持続可能な天然資源を使用した商品

※FSC 認証紙クロス（エパロン）、レーヨン100%カラー不織布（パネロンカラーシート）等

■ 処理処分を考慮した商品

▶ 廃棄のし易さを考慮した商品

ラップ・アルミホイルのカット用紙刃、乳飲料・紙蓋材等

▶ 省資源・3R（Reuse,Recycle,Reduce）に貢献する商品

ストレッチ壁紙、トナーカートリッジ再生、詰替え用サブカセット、自動車天井内装材（軽量化）、有機EL乾燥剤（長期使用性）等

【生活環境に配慮した商品】

▶ 快適な空間を提供する商品

パネロン脱臭フィルター、抗菌消臭壁紙、マイナスイオン壁紙、抗ウィルス壁紙、空気清浄機用フィルター材、不織布床防音材等

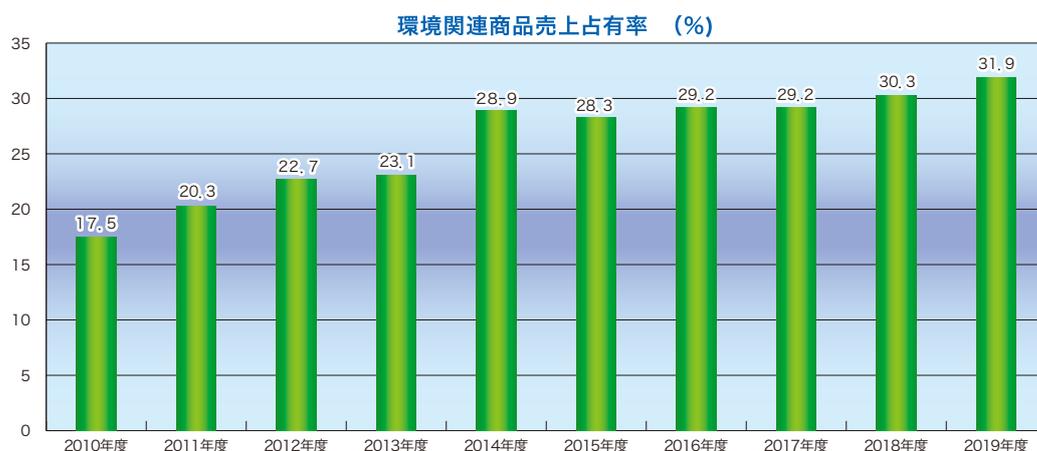
▶ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、※ニックスセブン表示用ラベル（エコテックス登録）、パップ材の離型フィルム等

▶ 抗菌・消臭を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス、抗菌包装材等

※印の商品は第三者認証商品です



これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。その成果として、2019年度の環境関連商品の当社売上に占める比率は31.9%で目標を大きく上回る伸びとなりました。今後もさらに、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えております。

2019 年度環境活動

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●チラー更新

埼玉工場では、設備冷却水を生成するチラーを更新し、省エネルギー化を進めています。

下の写真にある2台の他、工場内にあるチラー計4台を更新したことで、大幅な消費電力削減が期待できます。



●高効率型変圧器へ更新

滋賀工場では、1000KVA 変圧器を高効率型に今年度更新しました。

変圧器の高効率型化により、電力損失、CO₂ 排出量を大幅に削減し、運転騒音も低くなっています。



2019 年度環境活動

環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

●照明のLED化

真岡工場では各工程作業場・自動倉庫・事務室の大部分の照明はLEDに切り替えていましたが、通路・倉庫・エージング室など残り全てを更新しLED化を完了しました。



●遮熱塗装による温度上昇抑制

富士工場の工場棟屋根に遮熱塗装を行いました。その結果日射による建屋内の温度上昇が抑えられ、エネルギー削減につながっています。(2018年度比 12%減; 7月8月実績)

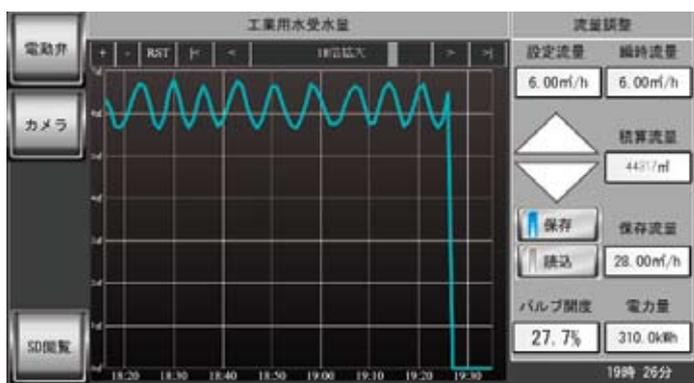


2019 年度環境活動

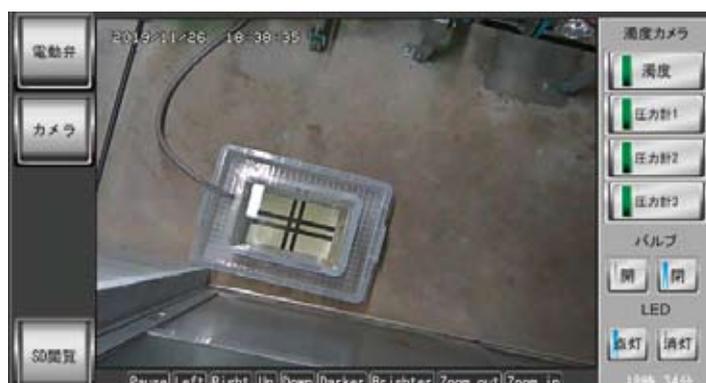
環境負荷低減のために ～資源の有効利用～

●工業用水受水設備のIoT化

工場から離れた場所(約2km)にある工業用水受水設備に、遠隔調整・監視装置を導入しました。受水量の調整及び受水濁度の確認を遠隔化し常時可能にした事で、水量・水質の安定確保が容易になり、水資源の無駄を少なくできました。



受水量調整画面



受水濁度監視画面

●消火栓配管架空化

消火栓用の水管に老朽化による腐食・漏水が発生していたことがわかりました。地中埋設型であったため、問題個所の発見に手間取りました。対策として、発見や点検作業を容易にするべく、計画的に配管の架空化を推進しています。

漏水を防止することで、水資源の消費を削減するとともに、井戸ポンプの稼働を抑えて電気代の節減につなげました。



2019 年度環境活動

地域とともに

●ゴミゼロ清掃活動

滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の日と定める 5 月 30 日（ゴミゼロ）の前後に清掃活動を毎年行っています。

当社もこの活動に賛同し、5 月 26 日（日）に、国道 306 号線沿いのゴミゼロ清掃活動を行いました。昨年より、作業者の視認性を高めるため、オレンジ色のベストを着用し作業しています。



滋賀県が環境美化の基準日と定める 12 月 1 日の前後にも、多賀町主催で芹川清掃活動が毎年行われています。

当社もこの活動に賛同し、12 月 1 日（日）に芹川清掃活動を行いました。



2019 年度環境活動

地域とともに

●工場外周道路のごみ拾い

埼玉工場では、毎月工場外周道路のごみ拾い活動を行っています。2019 年度は 12 回実施しました。



●植樹木のリスト

埼玉工場の敷地内に植樹されている樹木の一覧を作成しました。年間を通して樹木の観察と分類を行いました。

名称	高さ	花の色	花の時期	実の形	葉のつき方・大きさ
カクレミノ	9~15m	黄緑	6~8月	扁球果	互生・10cmくらい
ヤツデ	2~4m	白	10~11月	球形・黒	互生・30cmくらい
キンシバイ	~1m	黄	6~7月	卵形	対生・2cmくらい
モミジ	5~15m	暗赤色	4~5月	翼果	対生・10cmくらい
カキ	10~15m	黄~緑	5~6月	球形	互生・
ザクロ	5~6m	朱赤	6月	球形	対生・5cmくらい
サンゴジュ	5~15m	白	6~7月	長球形	対生・15cmくらい
ツゲ	1~4m	淡黄~白	3~4月	球形	対生
サツキ	~1m	朱赤・紅紫	5~7月	長球形	互生・3cmくらい
ヒラドツツジ	1~3m	白・紅・濃紅紫	4~5月	針状	互生・8cmくらい
ドウダンツツジ	1~2m	白	4~5月	さく果	互生・3cmくらい
サザンカ	1~6m	白・赤	10~1月	卵形	互生・5cmくらい
ツバキ	3~10m	白・赤	2~4月	球形	互生・10cmくらい
ナツツバキ	10~20m	白	6~7月	卵形	互生・8cmくらい
カナメモチ	2~5m	白	5~6月	楕円球形	互生・8cmくらい
カリナ	3~10m	淡紅	4~5月	球果	互生・
ウメ	3~10m	白・淡紅・紅	2~3月	球形	互生・8cmくらい
オオシマザクラ	10~15m	白~淡紅	4月	球形	互生・10cmくらい
スモモ	5~6m	白	4~5月	球形	互生・
ソメイヨシノ	10~15m	淡紅	3~4月	球形・赤~紫黒	互生・10cmくらい
ハナカイドウ	3~8m	紅	4月	球形	互生・8cmくらい
リンゴ	8~10m	淡ピンク	4~5月	球果	互生・
シイ	10m~30m	-	5~6月	卵状円錐形	互生・
ヒマラヤスギ	20~30m	淡緑色(雌花)	10~11月	卵形	針状葉
クロマツ	~40m	紫紅(雌花)	4~5月	卵形	針葉
ナツミカン	3~6m	白	5月	球形	互生・
アオキ	1~2m	緑~紫褐色	3~5月	長球形	対生・10cmくらい
ハナミズキ	5~12m	白・紅	4~5月	核果	対生・10cmくらい
サルスベリ	3~9m	紅紫・白・ピンク・淡紫	7~9月	球形	互生・5cmくらい
ナンテン	1~2m	白~朱赤	6月	球形・赤	互生・5cmくらい
キンモクセイ	4~6m	黄	10月	球形	対生・10cmくらい
ヒラキ	4~8m	白	11月	長球形	対生・5cmくらい
ハウモクレン	7~10m	白	3~4月	袋果	互生・15cmくらい
モチノキ	15~25m	黄緑	4月	球形・赤	互生・7cmくらい
サカキ	3~5m	白	6~7月	球形	互生・8cmくらい
トウジュロ	8~10m	淡黄緑	5~7月	扁球形	互生・
アジサイ	~1.5m	淡青紫	6~7月	球形	対生・15cmくらい
ロウバイ	1~3m	黄	1~2月	長球形	対生・2cmくらい

●地域との対話

埼玉工場では、2019 年度は次のような地域活動などに協力をしました。

2019 年 5 月 工場周辺の自治会との懇談会を開催

2019 年 7 月 近隣自治会の夏祭り（子ども神輿）



2019 年度環境活動

地域とともに

●地域貢献

滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では、多賀町産業環境課の御協力により、近隣住民の方々の他多くの皆様に親しんでいただくことを目的として、天究館の天体望遠鏡を使用した観望会や、小型天体望遠鏡を各地へ運んで移動観望会などを行っています。2019年度は、「星空☆自然かんさつ会」を3回開催し、多くの来場者でにぎわいました。

参加費無料！
事前申込不要

星空☆自然かんさつ会

～夏休みに、星空から環境について考えよう～

毎年の恒例行事となっています「星空・自然かんさつ会」を、今年も開催します！
星空を見上げたり自然に触れたりすることで、環境について考え、学ぶ機会を提供できればと考えています。どなたでもご参加いただけますので、ご家族そろってぜひお越しください。

こ	き	ところ
令和元年7月23日（火）		
令和元年8月7日（水）	19:30～21:30 (受付 19:00～)	ダイニック アストロパーク天究館
令和元年8月22日（木）		



●デジタルプラネタリウム

当社創立100周年を機に天究館へ本格的なデジタルプラネタリウムを導入しました。「宇宙を飛ぶ気分を味わえる」と大好評です。



2020 Environmental Report



『環境報告書2020』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2020年8月18日